

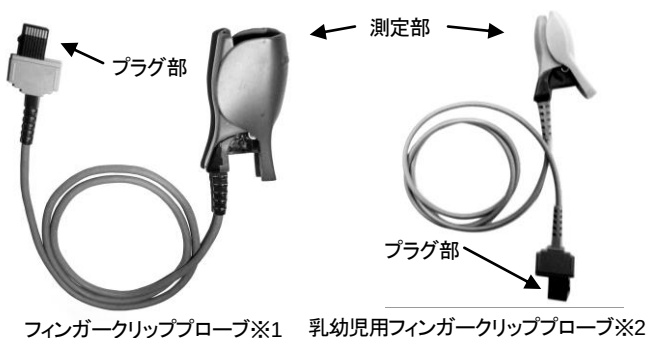
フィンガークリッププローブ※1 乳幼児用フィンガークリッププローブ※2

禁忌・禁止

可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内での使用
併用医療機器に関する禁忌・禁止
・ 高圧酸素治療装置内での使用
・ 磁気共鳴画像診断装置(MRI)との併用

【形状・構造及び原理等】

本品は、パルスオキシメータに使用する再使用可能なプローブです。
成人・小児用のフィンガークリッププローブと乳幼児用フィンガークリッププローブの2種類があり、またケーブル長の相異によりそれぞれ2種類の型名があります。



フィンガークリッププローブ	乳幼児用フィンガークリッププローブ
ApFC-161-60 (600mm)	IpFP-181-60 (600mm)
ApFC-162-120(1,200mm)	IpFP-182-120(1,200mm)

<動作原理>

2波長(赤色光及び赤外光)の光源をもった発光ダイオード(LED)とフォトダイオード(受光素子)を組み込んだパルスオキシメータプローブを指先などに当てます。これらの光源からの光は、指を流れている血液中のヘモグロビンによって吸収されます。ヘモグロビンは酸素と結びついたもの(酸化ヘモグロビン、O₂Hb)とそうでないもの(還元ヘモグロビン、Hb)の吸光スペクトルに違いがあるため、それぞれの吸光度の比を計算することによってSpO₂が求められます。

<品目仕様等>

測定方式	2波長吸光度測定法
測定範囲・精度	SpO ₂ 値 0～100%、±2SpO ₂ %(70～100%) 脈拍数 30～240bpm、±3bpm
適用装置	ユビックス製のパルスオキシメータ

*【使用目的又は効果】

<使用目的>

経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)を測定し表示します。
スポット測定または10分間程度の短時間の連続測定に使用します。

*【使用方法等】

- パルスオキシメータ本体のプローブスポットにフィンガークリッププローブのプラグを接続します。



- パルスオキシメータ本体の電源を入れます。
- フィンガークリッププローブを開いて指に正しく装着します。



- 測定が開始し、表示されるSpO₂及び脈拍数を観察します。
- 電源をOFFにして、測定を終了します。
- 使用後はフィンガークリッププローブを本体から取り外して保管してください。

【使用上の注意】

<使用注意>

- CPR処置をしている患者では正確な測定ができないことがあります。
- 一酸化炭素ヘモグロビンやメトヘモグロビンなどの異常ヘモグロビン量が多い場合は正確な測定ができないことがあります。
- 血管造影剤は濃度によりSpO₂の測定精度に影響することがあります。
- マニキュアを塗っていたり、指が汚れていると正確な測定ができないことがあります。
- 末梢の灌流が不十分な場合は正確な測定ができないことがあります。
- 本品はすべての患者に適合するとは限りません。安定した測定が得られないときは使用を中止してください。

<重要な基本的注意>

- 本品を適用機種以外の装置に接続しないでください。
- フィンガークリッププローブに損傷がないことを確認してください。損傷のあるプローブ、電気回路が露出したプローブは絶対に使用しないでください。
- フィンガークリッププローブを10分間以上装着しないでください。指が虚血状態になり、正しいSpO₂が測定できないことがあります。また、指に痕跡が残る場合もあります。
- 正確なSpO₂測定のためには十分な強度のパルス信号を取得することが必要です。測定値を採用する前にパルス信号取得が妨害されていないことを確認してください。
- 血行、皮膚の状態などを確認するため頻繁に装着場所を点検してください。
- 環境光(直射日光、キセノン光源、光線治療器、蛍光灯、赤外線加熱ランプ等)の影響により、SpO₂が正しく測定されない可能性があります。
- 40℃を超えた環境で使用しないでください。稀に火傷を負うことがあります。
- 振動、体動、衝撃などは最小限に抑え、かつ安定した状態で測定してください。
- フィンガークリッププローブを水、溶剤、または洗淨剤の中に漬さないでください。
- 清掃するときは、中性洗剤または水を含ませたガーゼ等で汚れを落としてください。消毒が必要ときは消毒用アルコールを含ませたガーゼ等を使用してください。拭拭の後は乾いた布等で薬液分が残らないように完全に拭き取ってください。
- フィンガークリッププローブは滅菌されていません。放射線、オートクレーブ、エチレンオキシドガスで滅菌しないでください。

<相互作用: 併用禁忌・禁止>(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
高圧酸素治療装置	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある。
磁気共鳴画像診断装置(MRI)	使用禁止	電磁誘導による局所的な発熱で患者が火傷を負うことがある。

<相互作用: 併用注意>(併用に注意すること)

- 除細動器: 装着したプローブが確実に本体に接続されていることを確認してください。放電エネルギーによる電撃に注意してください。
- 電気手術器: 高周波エネルギーにより誤動作したり正しく測定できないことがあります。
- 電磁波妨害: 患者の周囲では携帯電話や小型無線機などの電源を切ってください。

*【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

使用時 0～40℃、相対湿度 30～75%(結露しないこと)
保管時 -20～50℃、相対湿度 10～95%(結露しないこと)

*【製造販売業者および製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

ユビックス株式会社
東京都江東区青海 2-4-32 TIME24 ビル TEL03-5531-0154